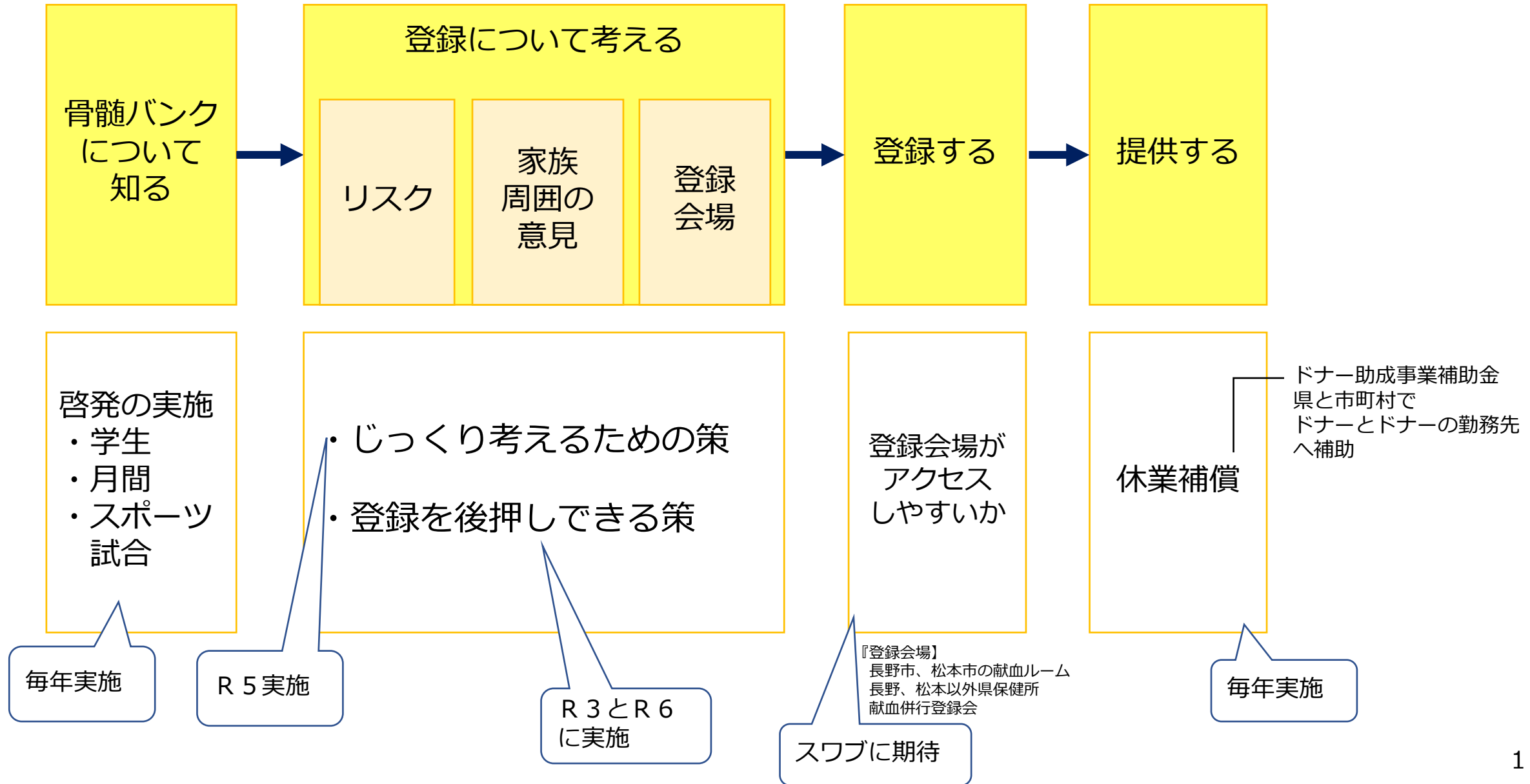


ドナー登録者の増加に向けた 今後の取組について

令和6年12月23日
保健・疾病対策課

ドナー登録から提供までの流れと取組



これまでの取組等から分かったこと

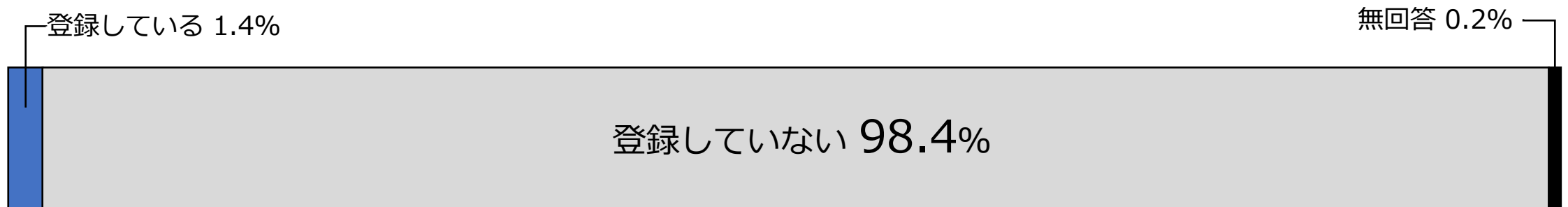
- 1 骨髄バンクドナーの周知では登録者の増が望めない**
 - ・世論調査の結果
- 2 工夫した広告でも、登録者増が望めない**
 - ・令和5年度のWEB広告の結果
- 3 登録を後押しするインセンティブは有効**
 - ・平成30年度の読売巨人軍のサイン配布
 - ・令和3年度のステンレスボトル配布
 - ・令和6年度の信州ブレイブウォリアーズのサイン配布
- 4 献血ルーム等へ、登録のために足を運ぶほどのインセンティブとは**
 - ・令和3年度のステンレスボトル配布
 - ・令和6年度の信州ブレイブウォリアーズのサイン配布

1 骨髄バンクドナーの周知では登録者の増が望めない

移植医療に関する世論調査（令和3年9月調査）によると

「骨髄バンク」を
「知っている」と答えた者
は75.7%

「骨髄バンクについて『知っている』と答えた者（1,290人）」に、
「骨髄バンクにドナー登録しているか」聞いたところ、
「登録していると答えた者の割合」は1.4%であった。



2 工夫した広告でも、登録者増が望めない

●令和5年度

【企画】

- ・立ち止まって考えてもらうことを目指したWEB広告を実施。
- ・若い方（44歳以下）へ広告を表示した。

【結果】

- ・登録者増には結びつかなかった。
 - スマホに表示される広告では、登録者増に寄与する企画が作れないことが分かった。



広告バナー（メッセージを変え複数出稿）

3 登録を後押しするインセンティブは有効

●令和3年度

【企画】

- ・登録者にステンレスボトルをプレゼント

【結果】

- ・献血実施者にお声がけするきっかけになり、前年同期に比べ**登録者数増**

※R3.10から配布を開始

R3.10~R4.3：登録者数113名

(R2.10~R3.3：登録者数78名)



3 登録を後押しするインセンティブは有効

●平成30年度（日本骨髄バンクが主催）

長野オリンピックスタジアムで開催の巨人戦での登録会で、選手のサイン色紙をプレゼント

【結果】 **37名**の登録

（参考：当時の移動献血併行型ドナー登録会では、通常、1回あたり5名程度の登録者）

●令和6年度

信州BW（プロバスケ）の試合会場の登録会で、
選手サイン色紙をプレゼント（登録会10:00～14:00）

【結果】

11名の登録（16名への説明、5名健康等の理由で登録できず）

【課題】

登録には説明の時間（約20分）が必要であり、
混んでしまうと、説明員が対応できず、断って
しまった場合があった。



4 献血ルーム等へ、登録のために足を運ぶほどのインセンティブとは

●令和3年度

登録者にアルクマステンレスボトルプレゼント

【結果】

- ・アルクマのボトルがほしいとのことでわざわざ来てくれた人がいるか？
- ・アンケート等をとっていないため、真偽は不明であるが、想像するに難しい

●令和6年度（なかなか手に入らないモノで実施）

献血ルーム、保健所での登録者に信州BW（プロバスケット）の選手サイン色紙をプレゼント

【結果】

- ・2名の登録（令和6年12月16日時点（配布開始1週間の結果））
- ・熱狂的なファンの方が、配布初日に登録に行くなど、効果は見たが、多くの人が登録のために足を運ぶものではないところ、、、

⇒「なかなか手に入らないモノ」かつ「多くの人がほしいと思うモノ」が必要。

今後について

●これまでの取組で分かったこと

- 1 骨髄バンクドナーの周知では登録者の増が望めない
- 2 工夫した広告でも、登録者増が望めない
- 3 登録を後押しするインセンティブは有効
- 4 献血ルーム等へ、登録のために足を運ぶほどのインセンティブとは

●令和7年度以降の取組

【継続】

- ・県内プロスポーツチームの試合会場での登録会 + 選手サイン配布の実施を検討

【新規】

- ・本会議の構成員の皆さまと協働で何かできないか模索したい
 - ①登録会場に足を運んでもらえるモノ
 - ②献血に来てくれた方の背中を押して登録につながるモノ

※献血と併行ではない単独の骨髄バンクドナー登録会は採血の問題等で開催が難しい。